

第2章 目標における施策の進行状況

1 重要課題における人権の現状と推進

① 同和問題

市では、部落差別を解消し、もって部落差別のない社会を実現するための教育・啓発活動等を充実、強化しています。

平成30年5月31日（木）戸倉人権はつらつセンターで部落解放同盟千曲市協議会と担当課により「部落解放・人権政策確立に向けた懇談会」を開催しました。部落差別問題の現状を共有し、問題解決に向けての取り組みについてなどを意見交換しました。

また、平成30年9月21日（金）には部落解放同盟千曲市協議会が千曲市議会へ要望書を提出しました。

市では平成31年2月19日（火）に人権ふれあいセンターで「部落差別の解消の推進に関する法律」についての市職員研修会を実施しました。市職員として人権感覚を磨き、部落差別について正しい知識を深め、差別のない社会を目指し取り組んでいきます。



▲H31. 2/19 部落差別の解消の推進に関する法律についての研修会

平成31年3月3日（日）には人権ふれあいセンターで「千曲市人権のまちづくりに向けた学習会」を開催しました。行政・教育関係者のほか市議会議員、人権擁護委員等々70名あまりのさまざまな立場の市民の皆さんが参加し、部落差別問題を学ぶことができました。



▲H31. 3/3 千曲市人権のまちづくりに向けた学習会

【学習内容】

○部落差別の実態報告・提案

「インターネット上の部落差別 被差別部落の地区や人名が…」

講師 部落解放同盟千曲市協議会 役員

○講演 「私が出会った大切な人たち～ドキュメンタリー製作を通して」

講師 NPO 法人 人権センターながの
代表理事 野沢喜代さん



▲H31. 3/3 千曲市人権のまちづくりに
向けた学習会

② 障がいのある人の人権に関する問題

障がいの有無に係わらず、住み慣れた地域でお互いが尊重しあい、地域で共に生きる社会にしていくにはどうしたらよいか考え、障がいについての正しい理解と認識を深めています。

市では、障がい者虐待防止センターを設置し、相談体制を確保するとともに、虐待事案への対応等を行なっています。また、「障害者差別解消法」に基づき策定した職員への対応要領に沿って研修会を実施するなど、適切に事務又は事業が遂行できるように努めています。

③ 子どもの人権に関する問題

子どもの人権については、いじめや虐待・体罰など、また、身体的・精神的な危害や、子どもの主体性を抑えてしまう過度な保護や管理、インターネットなどでの情報の氾濫など、健全な育成を妨げる環境が子どもを取り巻いています。

市では、要保護児童等の早期発見や虐待防止、適切な保護と支援を行なうため、家庭相談員による相談対応とともに、関係機関・関係団体の情報共有、連携強化及び支援の内容に関する協議を行うため、「千曲市虐待防止ネットワーク会議 要保護児童等対策部会」を設置しています。

平成 30 年度は部会として、代表者会議（1 回）、実務担当者会議（3 回）及び個別ケース検討会議（随時）を開催しました。

また、総合教育センターでは、教育相談、いじめや不登校などの相談を受けるとともに、他の教育相談機関との連絡調整を行なっています。いじめ等の子どもの人権問題に対応するため、専用電話により平成30年度は22件の相談を受け付けしました。

併せて屋代中・戸倉上山田中・更埴西中・埴生中を拠点とした「拠点校方式」によりスクールカウンセラーを配置し、相談業務を実施しました。

相談内容が年々複雑多様化する中で、業務の重要性が増しています。

市少年育成センターでは30名の市民が補導委員を務め、駅や子どもたちが立ち寄りそうな場所を定期的に巡回し、ひと声かけ、注意、助言、指導の活動により、少年非行の未然防止につながっています。

平成30年度は、通常の街頭補導のほかにお祭りなどのイベントにも巡回し、実施回数は190回余、延べ591人の活動となりました。また、4月11日に長野県青少年育成県民会議がすすめる「信州あいさつ運動」の啓発活動を埴生中学校で行いました。

学校でもPTA等と協働して、登下校の際の子どもを見守る地域の住民や「千曲市地域で子どもの安全を守る会」などの支援者の連携強化を図っています。



▲H30.4/11 信州あいさつ運動（埴生中学校）

④女性の人権に関する問題

市では、地域社会・家庭・職場などにおいて、性別による固定的役割分担意識の是正ができるよう啓発活動を推進しています。

平成30年度は、昨年に引き続き6回シリーズで、「男女共同参画セミナー」を開催しました。延べ565名の市民の方が参加されました。参加された皆さんからはどれも良い評価をいただきました。

また、男女共同参画社会の形成の促進に向け、市民が主体となって事業を実施する男女共同参画社会づくり講座や、市の男女共同参画団体等が主催する事業等に共催するなど、活動への積極的なバックアップをしました。

平成19年度より千曲市男女共同参画推進連絡協議会の活動の柱であった「平和のつどい」は千曲市協働事業提案制度採択事業として市民と行政での協働で開催し、戦争の悲惨さ、恐ろしさを学び、平和の大切さを伝えることができました。

○平成30年度 男女共同参画セミナー等実績

項 目	内 容
男女共同参画セミナー（全6回）	○第1回 6月16日（土）更埴文化会館 参加者 120名 「終活セミナー～これからの人生をより良く生きていくために～」 講師：佐々木悦子さん（(社)日本エンディングサポート協会 理事長）
	○第2回 8月23日（木）更埴文化会館 参加者 30名 「ハラスメントを知る～相談する時、された時のために～」 講師：竹内正美さん（キャリアコンサルタント）
	○第3回 10月6日（土）戸倉創造館 参加者 60名 「笑いで学ぶ女（ひと）と男（ひと）との絆～ちょっと違ってちょうど良い～」 講師：林家カレー子さん（漫才師）
	○第4回 11月18日（日） 参加者 30名 「活躍も出産もアップできる？輝く男と女、コミュニティ持続力の鍵は何？」 講師：ステイール若希さん （東京大学社会科学研究所元准教授・NPO 法人千曲国際交流協会副理事長） 長野県共催
	○第5回 平成31年1月26日（土）更埴文化会館 参加者 300名 人権を守る市民集会 「勝負の内側～スポーツ世界の見えないやりとり～」 講師：山本浩さん （法政大学スポーツ健康学部教授・元NHK エグゼクティブアナウンサー）
	○第6回 平成31年2月16日（土） 総合観光会館 参加者 25名 「自分の未来を考える～キャリアマップをつくろう～」 講師：霜鳥光さん（(株) キャリアトラスティング代表取締役）



▲H30. 6/16 男女共同参画セミナー（更埴文化会館）

▲H30. 10/6 男女共同参画セミナー（戸倉創造館）

項目	内容
千曲市男女共同参画推進連絡協議会（男女共同参画セミナー）	5月8日（火）更埴文化会館 参加者 70名 講演：戦争と女性～教室に残る満蒙開拓の“現在”から、戦争と女性・満州について考える～ 講師：前篠ノ井西中学校教諭 飯島春光さん （平和のつどい学習会と同時開催）
千曲市協働事業提案制度採択事業	○「平和のつどい」 7月7日（土）開催 参加者 250名（29年度 180名 前年度比 138%増） 講演：「終末時計2分を乗り越え 核兵器のない世界へ」 講師：日本原水爆被爆者団体協議会事務局次長 藤森俊希さん 作文朗読：治田・戸倉・上山田小学校児童の発表 他 ○「平和のつどい映画会（2回上映）」 7月21日（土）開催 参加者 600名（29年度 300名 前年度比 200%増） 上映映画：「母と暮せば」



▲H30. 7/7 男女共同参画セミナー（更埴文化会館）

項目	内容
男女共同参画 社会づくり講座	○ちくま男女共同参画の会 12月1日(土) 人権ふれあいセンター 参加者約30名 旗揚げアンケート方式ワークショップ:「男女共同参画による地域づくり」 ファシリテーター:内山 二郎さん(フリージャーナリスト)

セミナー等に参加した人のアンケートから(抜粋)

- ・終活することは重いことではなく、「今の自分を見つめ、これからの人生設計すること、とても前向きに考えることだと思いました。(6/16 セミナー参加者)
 - ・わかりやすい資料でワークライフバランスを改めて考えることができました。(11/18 セミナー参加者)
 - ・未来を描くことにより実現しそうな希望が湧きました。実現できるように頑張っていきたい。(2/16 セミナー参加者)
 - ・絶対に戦争をしないこと一人ひとりが決意することが大切だと思った。戦争の辛さを生々しく伝えていただき平和の大切さをより感じた。(7/7 平和のつどい参加者)
 - ・地域づくりについて、考えることができ楽しく学べた。(12/1 ちくま男女共同参画の会主催講座参加者)
- 等々

市では、女性の意見を市政や方針決定過程で反映させるため、各種審議会、委員会等に女性の積極的な登用を進めています。

○平成30年度の審議会・委員会等の女性参画率 抜粋(全体では26.2% H30.4.1現在)

審議会・委員会等名	委員総数	女性の数	参画率
男女共同参画計画審議会	12	7	58.3%
行政改革推進委員会	8	4	50.0%
防災会議	31	4	12.9%
行政評価等外部委員会	10	4	40.0%
差別撤廃人権擁護審議会	13	4	30.8%
環境審議会	10	1	10.0%
健康づくり推進協議会	13	6	46.2%
子ども・子育て会議	15	10	66.7%
農業委員会	15	0	0.0%
地域公共交通活性化協議会	23	1	4.3%
都市計画審議会	13	1	7.7%
景観審議会	13	2	15.4%
学校評議会	78	26	33.3%
社会教育委員会	10	5	50.0%

また、参画状況について市のホームページで公開し、積極的に情報公開をしました。

⑤高齢者の人権に関する問題

市の高齢化の現状は平均寿命の伸びや少子化などを背景に、国と比較して高い水準にあります。

(平成31年4月1日現在 千曲市人口59,294人に対し65歳以上人口19,467人 高齢化率32.8%
／日本の総人口約1億2,623万人に対し65歳以上人口3,574万人 高齢化率28.3%)

高齢者が安心して自立した生活を送れるように支援するとともに、市民一人ひとりが高齢者を思いやり大切にできるよう、高齢者の人権についての理解と認識を深めていくことが重要です。

市では、「千曲市虐待防止ネットワーク会議 高齢者虐待対策部会」の開催を通じて、虐待防止や虐待を受けた高齢者やその養護者への支援を図るために関係機関や支援者等の連携体制を構築しています。平成30年度においては、虐待への相談支援件数は延べ266件（前年比59件増）、権利擁護への援助や成年後見制度等の相談支援件数は延べ239件（前年比51件増）を超えました。

また、市の委嘱を受けた介護相談員が、介護サービス施設・事業所に出向いて、利用者の疑問や不満、不安を受け付け、介護サービス提供事業者と市との橋渡しをしながら、問題改善や介護サービスの質の向上につなげる取り組みをしています。本年度は施設等への派遣数は延べ354人（前年比20人減）となりました。

高齢者の能力に応じた、社会参加ができるよう社会教育施設等で高齢者を対象とした学習機会の提供が行なわれています。

さらに、戸倉創造館では更埴地区老人大学（千曲市・坂城町）が開催され、平成30年度は千曲市から74名の生徒さんが受講されました。平成31年2月14日に行われた卒業式では、生徒さんが1年かけて創作した作品の披露もされました。

また、平成30年度には市内34人の市民が100歳を迎え、市長が100歳になる皆さんのお宅を表敬訪問し、内閣総理大臣と県知事からのお祝い状などが贈られました。



▲H31.2/14 更埴地区（千曲市・坂城町）老人大学卒業式（戸倉創造館）

⑥外国人の人権に関する問題

市の平成30年12月31日現在の外国人住民は、男性275人、女性504人、計779人（26か国）となっており、職場、学校や地域社会など日常生活の中で外国人とのかかわりを持つことが多くなっています。

外国人に対する偏見や差別を解消するためには異なる文化や価値観等を正しく理解し、市民一人ひとりが広い視野を持ち、言語、宗教、習慣等の違いを超えて相互理解を深めることが重要です。また、外国人が安心して暮らせる環境づくりの支援と相談、情報提供の充実を図るとともに、人権を尊重し「共生の心」の醸成を図る必要があります。

人権ふれあいセンターでは、自主事業としてNPO法人千曲国際交流協会のメンバーが講師となって、年20回以上の「日本語教室」を開講しています。講座には、市内の企業に研修で来ているベトナムの若者、日本に花嫁として来ている中国の方など約20名で構成され、隔週の日曜日に日本語の勉強や日本語検定のための学習をしています。

同様に生涯学習課でも「日本語教室」を開講したり、多文化共生フェスティバル「千曲万博」を開催し、各種国際交流・多文化共生事業を実施しています。平成30年度の千曲万博を平成31年1月20日に戸倉創造館で開催し、約400人の来場者がありました。

また、市内に住む外国人の皆さんの生活に配慮して、千曲市指定ごみ袋に外国語での標記（英語、韓国語、中国語）や「ごみの出し方」の外国語版（英語、韓国語、中国語、タイ語、ポルトガル語）を希望者に配布しています。

市内小中学校では、中国からの修学旅行隊の受け入れや外国語指導助手の国際理解事業（千曲万博など）への派遣を行なっています。

地域の地区人権教育研修会でも国際理解や世界の国の人権などをテーマに研修会を実施しました。（1回・参加者18名）



▲H31.1/20開催 千曲万博（戸倉創造館）